



**レッツ!エンジョイ
スポーツ・やまきた**

山北町 生涯スポーツ推進プラン

【改訂版】

平成31年3月



生涯スポーツで町民の健康増進

スポーツは、心身の健全な発達や健康保持・増進はもとより、人々に大きな感動や楽しみを与え、活力をもたらすとともに、地域住民の絆を深め一体感を醸成するなど、明るく豊かな活力に満ちた社会を形成する上で欠かせないものであります。

こうした中、山北町では平成17年に山北町生涯スポーツ推進プランを策定し、「レッツ！エンジョイ スポーツ・やまきた」を合言葉にスポーツの振興に取り組んできました。また、平成26年には、山北町第5次総合計画前期基本計画を策定し、子どもから高齢者まで町民誰もが気軽にスポーツ活動に親しむことができる機会を充実し、生涯スポーツの振興を図ってきました。

その間、これまでの「スポーツ振興法」に代わる「スポーツ基本法」が平成23年に施行し、平成29年には国の「第2期スポーツ基本計画」が策定され、スポーツの意義とそのはたす役割の重要性が高らかに示されています。

山北町においても、本年度山北町生涯スポーツ推進プランの改訂版を策定し、教育機関やスポーツ関係団体等と連携を図りながら、生涯スポーツの振興を図ることによる町民の健康増進に努めてまいりたいと考えておりますので、皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

終わりに、本プランの策定にあたりご尽力いただきました策定委員の皆様をはじめ、関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。

平成31年3月

山北町長 湯川 裕司

目 次

第1章 生涯スポーツ推進プランの改訂にあたって

1. プラン策定及び改訂の趣旨	1
2. プランの位置付けと計画の期間	2
3. 現状と課題	2
(1) 山北町の社会的環境	
(2) 町民のスポーツライフについて	
(3) 子どもの運動やスポーツの状況について	

第2章 スポーツ推進プランの基本的な方向

1. プランのテーマ	8
2. プランの目標	8
3. プランの体系	9

第3章 スポーツ推進の施策と主要事業

1. 参加・体験・交流を育むスポーツ環境づくり	10
(1) スポーツ参加のきっかけづくりの推進	
(2) スポーツイベントの充実・推進	
(3) 競技スポーツの振興	
2. 健康増進・未病改善を育むスポーツ環境づくり	13
(1) 健康・体力づくり活動の推進	
(2) 健康づくりのための学習活動の支援	
(3) 健康の保持増進・未病改善のための事業の推進	
(4) 幼児・児童・生徒のスポーツ活動の推進	
3. 活動基盤を育むスポーツ環境づくり	17
(1) 多様なスポーツ情報の提供	
(2) スポーツ人材育成活動の推進	
(3) 地域・競技スポーツ団体の支援	
(4) スポーツ施設の整備・充実	
4. 山北町の特性を生かしたスポーツ環境づくり	20
(1) 豊かな自然や歴史などを生かしたスポーツ環境の充実	
(2) カヌーのまちづくりの推進	

第4章 生涯スポーツ推進プランの実現に向けて

1. プランの数値目標	23
2. プランの推進方法・評価	25

付属資料

1. 山北町生涯スポーツ推進プラン策定委員会設置要綱	26
2. 山北町生涯スポーツ推進プラン策定委員会委員名簿・策定の経過	27
3. 山北町の社会体育施設	28

第1章 生涯スポーツ推進プランの改訂にあたって

1. プラン策定及び改訂の趣旨

21世紀の新時代を迎えた今日、仕事中心から生活重視への意識の変化などにより、主体的に自由時間を活用し、精神的に豊かなライフスタイルを構築したいという要望が強まっています。

しかしながら、一方では、IT技術の高度化による情報化の進展、少子・高齢化の進行などにより、日常生活において体を動かす機会が減少し、精神的なストレスが増大したり、体力や運動機能が低下したりするなどの問題が高まっています。

このため、国では平成23年に「スポーツ基本法」を制定し、平成24年には「スポーツ基本計画」を、平成29年には「第2期スポーツ基本計画」を策定しています。さらに、平成27年にはスポーツ庁を新設するなど、スポーツ行政の推進体制強化を図っています。

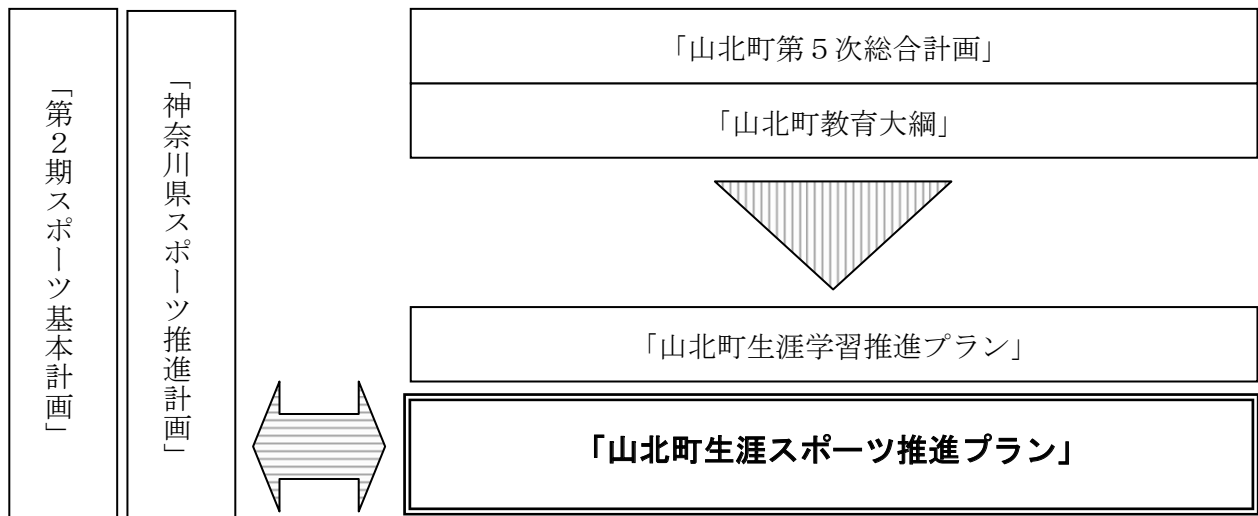
また、神奈川県では平成28年から、スポーツ行政を一括的に推進するためスポーツ局を設置し、ラグビーワールドカップ2019や東京2020オリンピック・パラリンピック、第34回全国健康福祉祭（ねんりんピック）などの対応にもあたっています。

山北町においても、東京2020オリンピック自転車競技ロードレースのコースに決定したことにより、世界のトップレーサーが走り抜けます。これらを大きな機運ととらえ、町民と行政が協働関係を構築し、より体系的・計画的に本町のスポーツ振興を推進するため、スポーツ振興法（旧）に基づき平成17年に策定した『山北町生涯スポーツ推進プラン』を改訂し、地域の特性を生かしつつ、創意と工夫を凝らした魅力あるスポーツ振興施策に取り組むものです。



(改訂前の山北町生涯スポーツ推進プラン表紙)

2. プランの位置付けと計画の期間



この計画は、スポーツ基本法に定める地方スポーツ推進計画に位置付け、国の「第2期スポーツ基本計画」や神奈川県の「神奈川県スポーツ推進計画」を参酌し、町民等から広く意見を聞きながら本町の実状に合ったプランを策定するものです。

また、「山北町第5次総合計画」と整合を図った「山北町教育大綱」を上位計画とし、「山北町生涯学習推進プラン」に付随した、平成31年度を初年度とし10年間を計画期間とした改訂版としています。

なお、今後の社会・経済の大きな変化により計画の見直しが必要な場合は、すみやかに計画の変更を行うものとします。

3. 現状と課題

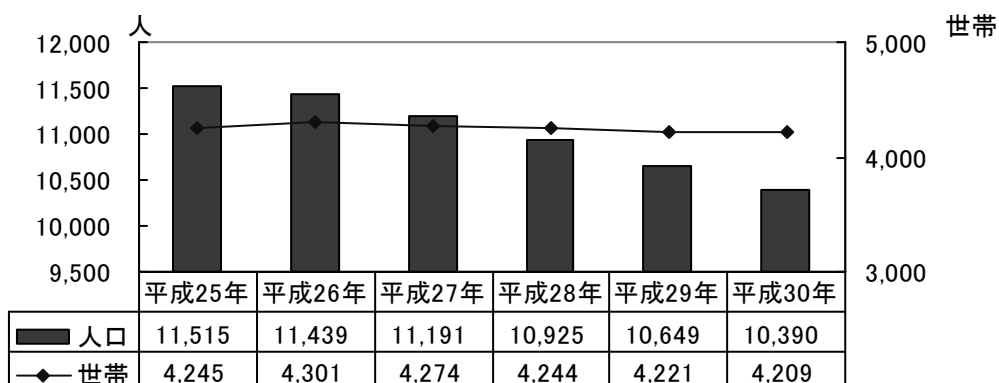
(1) 山北町の社会的環境

当初、本プランが策定された平成17年の1月現在では、年少(15歳未満)人口率11.69%、高齢(65歳以上)化率24.04%であったものが平成30年10月では、年少人口率8.75%、高齢化率38.48%と、人口減少とともに少子高齢化の波が押し寄せており、現在もその進行は抑えることができない状況です。少子高齢化の進行に伴い、疾病の治療や介護に係る社会的負担は非常に大きなものとなります。

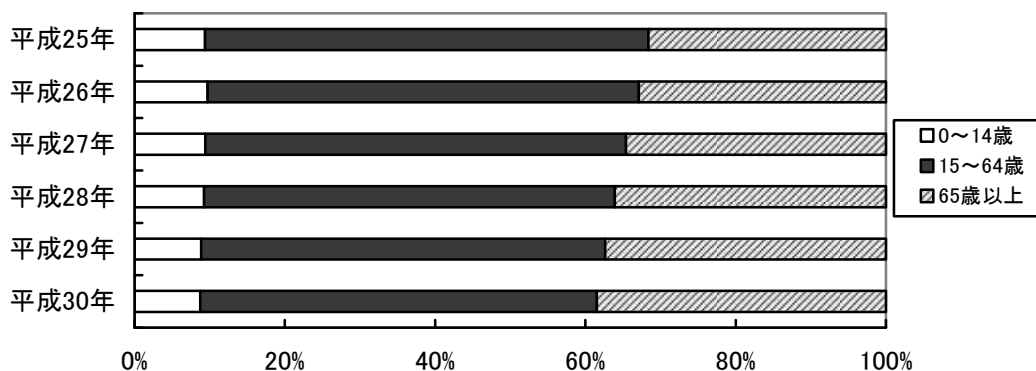
このような中、神奈川県では健康寿命を延ばすため「未病[※]を改善する」取組みを進めており、“運動・スポーツ”を重要な取り組みとして掲げています。また、山北町を含む県西地域を「未病の戦略的エリア」に位置づけ、県西地域活性化プロジェクトを推進しています。

健康増進の観点からも、社会の担い手として、高齢者のみならずすべての住民の健康で生きがいのある暮らしを支えるためのスポーツの役割は、大きくなっていくと思われます。

【人口と世帯数の推移】



【人口構成比（年齢3区分別）の推移】



※未病：人の心身の状態は、ここまでは健康、ここからは病気と明確に分けられるのではなく、健康と病気の間で連続的に変化しており、その状態を「未病」といいます

(2) 町民のスポーツライフについて

改訂前の生涯スポーツ推進プランで設定した4つの目標(数値目標)の達成度について、平成30年9月に行った「運動・スポーツに関するアンケート調査」の結果を基に評価・分析することにより、課題を検証するものとします。

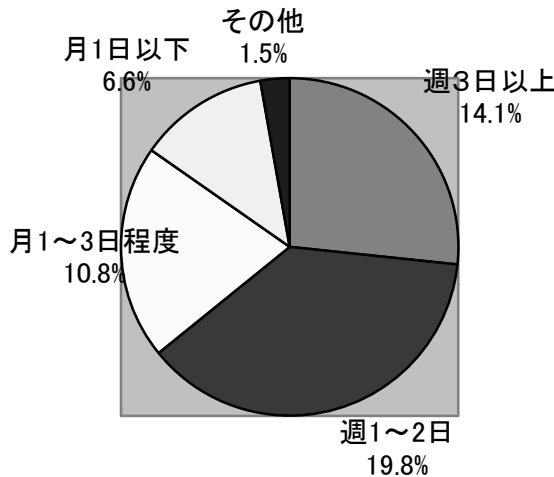
① 週1回以上のスポーツ活動の実施率 **〔目標〕 50%**

平成15年度に実施した「町民のスポーツに関するアンケート調査」によると、週に1日以上、何らかのスポーツを行っている人は平均で29.5%であったものが、今回の調査では平均33.9%と上昇しましたが、目標数値には達しませんでした。

アンケート結果の実施している種目から推測すると、「水中運動」や「パークゴルフ」の実施者が目立つことから、平成16年4月に開館した山北町健康福祉センターや平成23年10月に開設した山北町パークゴルフ場が増加の要因のひとつと思われます。

また、運動をしない理由としては、依然として仕事や育児に追われ時間がないことや機会がないといった理由が合計9割を超えています。

【スポーツ活動の実施率】



② スポーツイベント・大会・教室への参加率 **〔目標〕 50%**

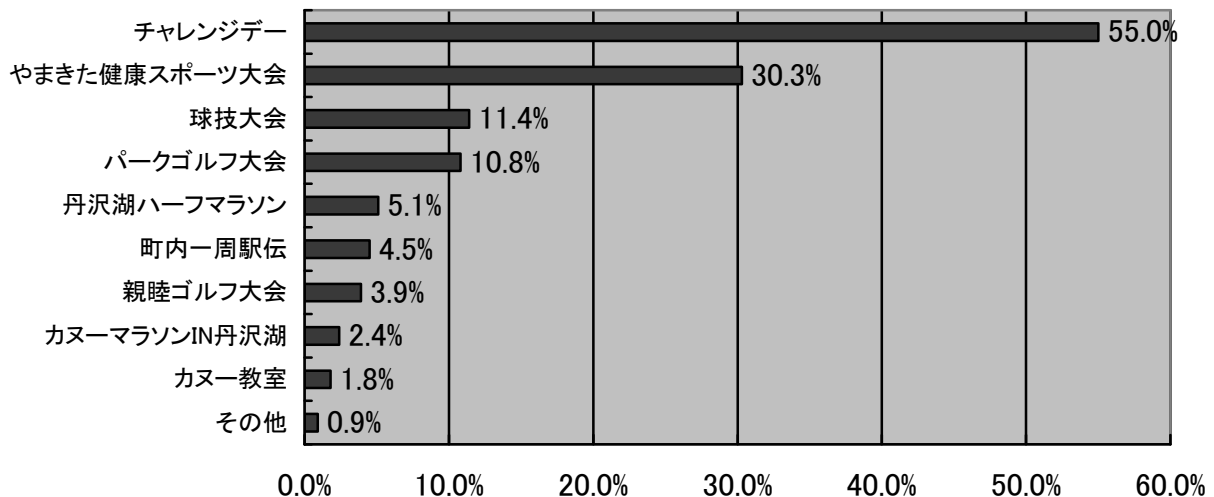
参加したことがあるスポーツイベント等は「チャレンジデー」が55.0%、「やまきた健康スポーツ大会」が30.3%、「球技大会」が11.4%と続いています。今回の調査では、全体の参加率は算出できませんでしたが、従前のスポーツイベント等への参加率21.5%に対し、目標の50%を遥かに超える参加率であるという結果が得られました。

平成 27 年度から開始したチャレンジデーは、参加率を競うイベントでもあるため、スポーツイベント等への参加率の目標達成に大きく貢献していますが、その後のスポーツ活動の習慣化に繋げる施策の検討が必要と思われます。

また、今回「チャレンジデー」と「やまきた健康スポーツ大会」両方に参加している人（重複回答者）が目立ち、スポーツイベント等への参加者の偏りが生じていることも推測されます。

定期的に運動やスポーツを行う理由としては、「健康・体力づくり」「楽しみ・気晴らし」「運動不足解消」「仲間との交流」「家族のふれあい」など様々なものとなっています。有意義で楽しめるイベントの開催が有効であると判断されます。

【参加したことがある町のスポーツイベント等】



③ スポーツクラブへの加入率 **【目標】 30%**

従前の、スポーツクラブへの加入率は 13.6%でありましたが、今回のアンケート調査では「スポーツクラブや同好会に加入している」が 28.5%で約 15 ポイントの伸びがありました。なお、「加入していない」が 69.4%であり、残りは無回答という結果でした。

今後は、スポーツクラブの多様化に伴い、種目ではスイミングやエアロビクス、実施場所ではトレーニングジムなどでの運動の増加が想定されます。スポーツ施設の充実により、年齢層や種目の拡大も期待できると思われます。

④ スポーツボランティア活動への参加率 **【目標】 20%**

従前のスポーツボランティア活動への参加率は 8.2%でありましたが、今回「スポーツイベントや指導などボランティアとして活動・協力している」が 25.2%、「していない」が 70.6%であり、残りは無回答という結果でした。

今回のアンケート調査は、スポーツ関連団体にも協力いただき調査したものであるため、若干スポーツボランティア活動への参加率は増加している傾向もうかがえますが、スポーツ活動の多様化や長年におけるイベント継続により得られた結果であると思われます。

しかし、町内における各種スポーツ関係団体役員等の高齢化は、住民の高齢化と共に進行しており、団体の継続・継承性に不安が残るものとなっています。

(3) 子どもの運動やスポーツの状況について

① 体格、体力・運動能力の状況について

小学生においては、身長・体重ともに全国・県平均に概ね達していますが、男子は「高度肥満」、女子は「中等度肥満」の割合が約 3%高いことが分かりました。中学生でも、「中～軽度の肥満傾向」にある生徒が見受けられます。

新体力テストにおいて、小学生男子は「握力」と「ソフトボール投げ」以外は全国・県平均をやや上回っており、女子については、すべての種目においてやや上回っています。

一方、中学生では男子が体力の合計点で全国・県平均をやや上回り、女子の運動能力はすべての種目で若干下回っています。

それらの結果から、スポーツクラブや運動部活動への加入状況との相関は見られませんが、スポーツに対する意識の改善や意欲の向上に結び付けていきたいとしています。

【平成 29 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査（山北町）結果より】

② 運動やスポーツの実施状況について

今回の児童生徒向けのアンケート調査は、平成 29 年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果を参考としたため、調査の対象学年であった平成 30 年度現在の小学 6 年生と中学 3 年生の全児童生徒を対象に行いました。



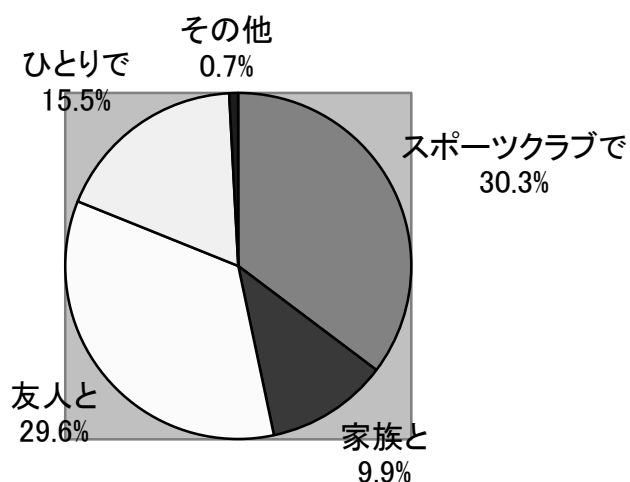
(中学生による大縄跳び)

まず、スポーツが好きかに対し「好き」が65.5%、「どちらでもない」が19.7%、「嫌い」が9.2%でした。

体育の授業以外のスポーツ実施者は68.3%(内「よくする38.7%」「ときどきする29.6%」)、未実施者は25.4%(内「あまりしない16.2%」「しない9.2%」)でした。スポーツをする理由として「楽しい」「上手になりたい」「健康・体力づくり」が上位を占めており、逆にスポーツをしない理由は「時間がない」がトップで、「苦手」「好きではない」が続いています。塾などにより「時間がない」という、大人と同じような理由が時代を象徴しているようにも思われます。

また、体育の授業以外のスポーツ実施方法として、約3割が「スポーツクラブ」に加入していますが、中学の運動部活動はこの中には含まれていないものと考えます。

【体育の授業以外のスポーツ実施方法】



第2章 スポーツ推進プランの基本的な方向

1. プランのテーマ

レッツ!エンジョイ スポーツ・やまきた

第2期スポーツ基本計画では「～スポーツが変える。未来を創る。Enjoy Sports, Enjoy Life～」を基本方針に掲げ、神奈川県スポーツ推進計画では「エンジョイ・スポーツ! かながわプラン」を基本目標に掲げていることから、本改訂版のテーマについては、従前のテーマ「レッツ!エンジョイ スポーツ・やまきた」を引き続き継承し、これを“基本理念”とします。

2. プランの目標

最近の週1回以上のスポーツ実施率平均は、国が42%（平成29年度）、県が42.2%（平成27年度）であり、いずれも山北町を大きく上回っています。

本改訂版では、従前の目標の考え方を継承し、全ての町民が何らかのかたちでスポーツに携わり、スポーツの楽しさや魅力に気づき、参加することを促すとともに、町民のための環境整備やわかりやすい情報提供に努めスポーツを始めるためのきっかけづくりを積極的にサポートすることとします。

そこで、改訂前の施策の4本柱を基に本改訂版の目標を設定します。

(1) 参加・体験・交流を育むスポーツ環境づくり

(2) 健康増進・未病改善を育むスポーツ環境づくり

(3) 活動基盤を育むスポーツ環境づくり

(4) 山北町の特性を生かしたスポーツ環境づくり

3. プランの体系

国・県	基本理念	目標	施策	主要事業
↳ スポーツが変わる。未来を創る。 <i>Enjoy Sports, Enjoy Life</i> ~ エンジョイスポーツ！ かながわプラン	「レッツ・エンジョイ スポーツ・やまきた」	1. 参加・体験・交流を育むスポーツ環境づくり	(1) スポーツ参加のきっかけづくりの推進	①年齢や性別を問わないスポーツの普及推進 ②コミュニティスポーツ活動の促進 ③ウォーキング・ジョギングの普及促進 ④休日夜間のスポーツ活動の促進
			(2) スポーツイベントの充実・推進	①全町民参加型スポーツイベントの開催 ②広域的なスポーツ交流イベントの開催 ③河川や湖面におけるイベントの開催
			(3) 競技スポーツの振興	①競技スポーツ関係団体との連携 ②スポーツ活動に対する顕彰制度の充実 ③国際的・全国的な競技会の開催及び誘致
		2. 健康増進・未病改善を育むスポーツ環境づくり	(1) 健康・体力づくり活動の推進	①健康と体力づくりの啓発と参加促進 ②ライフステージに応じたスポーツ活動の推進 ③健康づくり所管課等との連携強化
			(2) 健康づくりのための学習活動の支援	①各種相談窓口の充実 ②町民の健康診断・体力測定実施の促進
			(3) 健康の保持増進・未病改善のための事業の推進	①「未病を改善する」取組みの推進 ②スポーツ指導者・ボランティアの育成・活用 ③高齢者・障害者スポーツの調査・研究
			(4) 幼児・児童・生徒のスポーツ活動の推進	①幼児・児童・生徒の健康・体力づくりの充実 ②青少年スポーツクラブの活動支援 ③学校運動部活動との連携
		3. 活動基盤を育むスポーツ環境づくり	(1) 多様なスポーツ情報の提供	①わかりやすい情報の提供 ②スポーツ情報のネットワーク化の推進
			(2) スポーツ人材育成活動の推進	①スポーツ指導者・ボランティアの育成・活用【再掲】 ②スポーツ団体の連携強化と育成・支援
			(3) 地域・競技スポーツ団体の支援	①総合型地域スポーツクラブとの連携・支援 ②スポーツ団体の連携強化と育成・支援【再掲】
			(4) スポーツ施設の整備・充実	①既存スポーツ施設の有効活用 ②地域資源を活かしたウォーキングコース等の整備 ③公園や児童遊園地等におけるスポーツ実施場所の整備 ④山北体育館代替施設の建設
		4. 山北町の特性を生かしたスポーツ環境づくり	(1) 豊かな自然や歴史などを生かしたスポーツ環境の充実	①湖や清流などの水辺環境を活用したスポーツ環境の整備・充実 ②ハイキング・ウォーキングコース等の充実・整備 ③駅伝大会等の開催支援 ④観光と連携したスポーツツーリズムの推進
			(2) カヌーのまちづくりの推進	①丹沢湖を活用したカヌーイベントの開催や湖面利用の促進 ②カヌー等指導者育成の推進 ③カヌー関係団体との連携

第3章 スポーツ推進の施策と主要事業

1. 参加・体験・交流を育むスポーツ環境づくり

週に1日以上何らかのスポーツを行っている人は33.9%で、本プラン改訂前と比較し4.4ポイント上昇しましたが、全国平均の42%、県平均の42.2%には至っていません。

これまでも、スポーツの楽しさ、健康・体力づくりの効果などを、様々な機会を捉えて啓発するとともに、年齢や体力などに応じて、多彩なスポーツの選択ができ、参加を促すきっかけづくりや参加しやすい環境づくり、わかりやすい情報の提供などに取り組んできましたが、引き続き「参加・体験・交流を育むスポーツ環境づくり」に取り組んでいく必要があります。

仕事や育児、学業などで時間がとれない中でも、魅力あるイベントや施策を講じ、スポーツの習慣化に繋げていく事業を推進します。

(1) スポーツ参加のきっかけづくりの推進

[主要事業]

①年齢や性別を問わないスポーツの普及推進

子どもから高齢者まで、気軽に楽しむことができるスポーツの普及、啓発活動を推進します。また、きっかけづくりの一環として、チャレンジデーなどのイベントを活用し普及推進に努めます。



(チャレンジデーオープニングセレモニー)

②コミュニティースポーツ活動の促進

各地域で開催される運動会やスポーツ交流会など、スポーツに取り組むきっかけづくりとなるイベントや、地域住民が集う各種スポーツ教室や研修会に指導者を派遣するなど、地域の様々なスポーツ交流会を支援します。

③ウォーキング・ジョギングの普及促進

アンケート調査で、行っているスポーツの中で一番高い割合であったことから、ポールウォーキングなどのウォーキングやジョギングを中心とした教室を開催し、愛好者の増大や新規実施者の獲得に努めます。

④休日夜間のスポーツ活動の促進

スポーツを実施しない理由として「時間がない」が一番多かったことから、休日や夜間の活動を促進するため、スポーツ実施希望者に対し、休日活動団体や夜間使用可能施設などの情報を収集・提供します。

(2) スポーツイベントの充実・推進

[主要事業]

①全町民参加型スポーツイベントの開催

全町民を対象としたやまきた健康スポーツ大会の内容の充実、歴史のある球技大会や町内駅伝競走大会を継承することにより、スポーツに取り組むきっかけづくりやスポーツを継続して実施することを推進します。

②広域的なスポーツ交流イベントの開催

第40回目の開催を迎えた丹沢湖ハーフマラソンの充実を図るとともに、平成23年に開設したパークゴルフ場において、近隣市町のパークゴルフ場とタイアップしたイベントを開催するなど、健康づくりはもとより町内外参加者のスポーツ交流の場を拡充します。

③河川や湖面におけるイベントの開催

丹沢湖で開催しているカヌーマラソン IN 丹沢湖を、より広く周知し開催することにより、カヌーやSUP（スタンドアップパドルボード）愛好者への認知度を上げ、湖面利用の拡充や新たなイベント、競技会の開催を促進します。



(カヌー教室)

(3) 競技スポーツの振興

[主要事業]

①競技スポーツ関係団体との連携

競技力向上体制を整備するため、体育協会はもとより様々な競技スポーツ関係団体との連携・交流を促進します。また、平成 29 年度から山北町をホームタウンに加え活躍している「湘南ベルマーレ」との交流を推進します。

②スポーツ活動に対する顕彰制度の充実

スポーツ活動に対する意欲や夢を広げるため、平成 29 年に町教育委員会表彰要綱を定めたことにより、顕著な功績のあった団体や個人を表彰していきます。

③国際的・全国的な競技会の開催及び誘致

東京 2020 オリンピックにおいて、山北町が自転車ロードレースのコースの一部にあたることから、開催地として子どもから町民全体に周知を図り、ハイレベルな競技に触れるなど多様な関わり方でスポーツへの関心を高めます。

また、2021 年に神奈川県で開催される第 34 回全国健康福祉祭（ねんりんピック）においても、山北町で開催可能な競技を誘致しスポーツの振興に努めます。

2. 健康増進・未病改善を育むスポーツ環境づくり

アンケート調査において、運動やスポーツを行う理由としては、「健康・体力づくりのため」が最も多く「楽しみ・気晴らし」や「運動不足解消」が続いています。行わなかった理由では、「時間がない」や「機会がない」が大半を占めています。

神奈川県では、「未病を改善する」取組みにより、健康寿命を延ばし高齢になっても誰もが生き生きと健康に暮らし、長生きできる社会の実現を目指しています。

このようなことから、健康・体力づくりのための学習活動や各年齢層、健康状態に合った取り組みの充実を図り、関係機関や健康づくり所管課とも連携した町民のスポーツ環境づくりを推進します。

(1) 健康・体力づくり活動の推進

[主要事業]

①健康と体力づくりの啓発と参加促進

町内で開催される健康・体力づくりに関する教室やイベントなどの情報を提供し、参加を促すとともに、[※]3033 運動や様々なレクリエーションスポーツの啓発に努めます。



(スポーツ推進委員による 3033 運動啓発)

※3033 運動：1日30分 週3回 3ヶ月間継続して運動やスポーツを行い習慣化する取り組み

②ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

健康福祉センターやパークゴルフ場の利用を促進するため、それらの施設の維持管理に努め、幅広い年齢層に多種多様な事業の展開を図ります。

③健康づくり所管課等との連携強化

健康づくり所管課との連携を強化し、ニーズに応じた事業の展開を図ります。

また、2021年に神奈川県で開催される第34回全国健康福祉祭（ねんりんピック）では、山北町において開催される種目が盛会裏に開催できるよう、神奈川県スポーツ局とも連携を密にしていきます。

（2）健康づくりのための学習活動の支援

[主要事業]

①各種相談窓口の充実

町民のニーズに応じた健康・体力づくりに関する教室やイベント、運動の方法、医療などに関する相談窓口を充実します。

②町民の健康診断・体力測定実施の促進

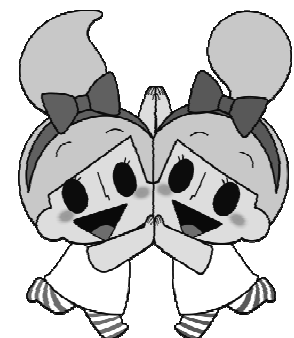
町民に対する各種健康診断を充実させるとともに、体力・運動能力調査等を実施し、体力向上や運動習慣の確立、生活習慣病の予防にその結果を役立てるなど、健康・体力づくりのための指導体制づくりに努めます。

（3）健康の保持増進・未病の改善のための事業の推進

[主要事業]

①「未病を改善する」取組みの推進

人生100歳時代を迎える中で、スポーツは心身の健康維持に重要な役割を果たしていることを認識し、平成29年に神奈川県が発表した「かながわ未病改善宣言」の3つの取り組み「食」「運動」「社会参加」を推進していきます。



（未病を治す取組みキャラクター「ミビョーナミビョーネ」）

②スポーツ指導者・ボランティアの育成・活用

スポーツ推進委員の研修の充実を図るとともに、スポーツ指導者やボランティアなど、学校や地域の関係団体とのコーディネーター役となる人材を育成し、活用が図れるよう努めます。

また、健康づくり所管課との連携により、健康普及員等との連携強化を図ります。

③高齢者・障害者スポーツの調査・研究

パラリンピック・ねんりんピックはもとより、障害者や高齢者向けのスポーツを調査・研究するとともに、既存のスポーツイベントのバリアフリー化を目指します。

(4) 幼児・児童・生徒のスポーツ活動の推進

[主要事業]

①幼児・児童・生徒の健康・体力づくりの充実

豊かな学び推進事業などによる、幼児・児童・生徒を対象とした新体力テストを継続し検証することにより、運動・スポーツに対する意識の改善や意欲の向上を図るきっかけづくりとします。

また、「あそび」的要素のある運動やスポーツを取り入れ、健康・体力づくりを推進します。

②青少年スポーツクラブの活動支援

アンケート調査によると、約 30%の児童・生徒が何らかの青少年スポーツクラブ等で活動している状況から、青少年スポーツクラブ等への参加促進と活動を支援し、継続的な活動の推進に努めます。



(ジュニアバレーボールチーム)

③学校運動部活動との連携

平成 30 年 3 月スポーツ庁が定めた「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」や神奈川県が定めた「かながわ部活ドリームプラン 21」を参考に、「山北町立学校に係る部活動の方針」を平成 30 年 8 月に策定しました。学校教育の一環として教育課程との連携を図りながら、地域とスポーツ団体や、学校と地域が協働・融合したスポーツ環境の整備に努めます。

3. 活動基盤を育むスポーツ環境づくり

生涯スポーツ活動の推進を図るため、各ライフステージに応じたスポーツ環境の整備・充実が必要とされることから、スポーツ情報のネットワーク化の促進や、スポーツ指導者・ボランティア指導者の育成に努めます。

また、地域や関係競技団体等との連携を図り、活動基盤の構築に努めます。

なお、アンケート調査において、スポーツ振興を図るためどのような取り組みをするべきかという質問に対し、50%以上の方が屋内スポーツ施設の整備が必要としています。平成 30 年度に山北体育館を解体し、新たな施設の建設が待たれている中、将来に向けた活動の拠点となる施設を検討していきます。

(1) 多様なスポーツ情報の提供

[主要事業]

①わかりやすい情報の提供

スポーツイベントやスポーツ・レクリエーション教室など、町民がスポーツにふれあうきっかけづくりとなる情報を、日々進化する様々な媒体を活用した情報提供に努めます。

②スポーツ情報のネットワーク化の推進

情報提供媒体の活用はもとより、神奈川県や近隣市町との情報ネットワーク化の推進に努めます。

また、公共機関以外の各種団体や民間企業とのネットワーク化も検討します。

(2) スポーツ人材育成活動の推進

[主要事業]

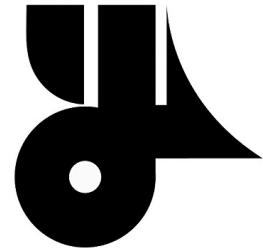
①スポーツ指導者・ボランティアの育成・活用【再掲】

スポーツ推進委員の研修の充実を図るとともに、スポーツ指導者やボランティアなど、学校や地域の関係団体とのコーディネーター役となる人材を育成し、活用が図れるよう努めます。

また、健康づくり所管課との連携により、健康普及員等との連携強化を図ります。

②スポーツ団体の連携強化と育成・支援

町体育協会や各種競技団体、地域スポーツ育成会及び各種スポーツ関係団体との連携を強化し、人材活用や支援、競技力向上に資するとともに、それらの団体等の指導・育成・支援に努めます。



(山北町体育協会章)

(3) 地域・競技スポーツ団体の支援

[主要事業]

①総合型地域スポーツクラブとの連携・支援

誰もが多様なスポーツ活動を身近で気軽に楽しめるよう、総合型地域スポーツクラブの活動の支援や人材活用に努め、学校や関係団体とも連携を図ります。

②スポーツ団体の連携強化と育成・支援【再掲】

町体育協会や各種競技団体、地域スポーツ育成会及び各種スポーツ関係団体との連携を強化し、人材活用や支援、競技力向上に資するとともに、それらの団体等の指導・育成・支援に努めます。

(4) スポーツ施設の整備・充実

[主要事業]

①既存スポーツ施設の有効活用

山北町公共施設等総合管理計画に基づき、既存施設については維持管理コストの削減に努め、旧学校体育施設や都市公園に付随するスポーツ施設は、関係所管課と連携し有効活用を図ります。

②地域資源を活かしたウォーキングコース等の整備

アンケート調査で、実施した運動・スポーツの中で、ウォーキングとランニングが合わせて60%を超えることから、ウォーキングやランニング、サイクリングコースの発掘・整備に取り組みます。

また、屋外スポーツ施設を望む意見も約30%あったことから、豊富な面積と自然を有する丹沢湖周辺の整備についても検討します。

③公園や児童遊園地等におけるスポーツ実施場所の整備

身近な場所で気軽にスポーツ・レクリエーションを行うことができるよう、公園や児童遊園地などの整備・充実を推進し、地域におけるスポーツの振興に努めます。

④山北体育館代替施設の建設

改訂前の町民アンケート調査においても、建替えが必要という意見が約5割に上っていた山北体育館を平成30年度に解体しました。今後は、59年間に及ぶ山北体育館の歴史を重んじた代替施設を関係各機関と検討し、スポーツ振興と地域に根ざした施設を建設します。



(解体前の山北体育館)

4. 山北町の特性を生かしたスポーツ環境づくり

山北町は、豊かな森林に恵まれた水源の町で、西丹沢の山々や丹沢湖、中川温泉などの豊かな自然環境に恵まれています。

このような中、本町の特性を生かしたスポーツ環境づくりとして、自然や水辺環境を活用したイベント等の開催やその拠点整備を充実させるとともに、観光と連携したスポーツ振興を図ることにより、地域振興の充実を促進します。

昨年、カヌーマラソン IN 丹沢湖が第 18 回目を迎えましたが、丹沢湖においても一般愛好者によるカヌーの湖面利用が可能となりました。また、山北町健康福祉センターを拠点とした「峠走」がブームとなり、大勢の愛好家が山北町を訪れています。

このような状況の中、山北町にとって湖や山を活用したスポーツ振興は必要不可欠であり、ユーシンブルー[※]など観光資源と連携した施策は有効であると考えます。



(ユーシンブルー風景)

※ユーシンブルー：山北町玄倉のユーシン渓谷にあるダム湖の水が美しいブルーであることからの通称

(1) 豊かな自然や歴史などを生かしたスポーツ環境の充実

[主要事業]

①湖や清流などの水辺環境を活用したスポーツ環境の整備・充実

自然環境を活用した、山北町独自のアウトドアスポーツ活動の拠点整備について調査検討するとともに、活動を支援します。

②ハイキング・ウォーキングコース等の充実・整備

自然や歴史・文化も取り込んだハイキング・ウォーキングコースの充実を図るとともに、その情報を発信します。

また、足柄峠や大野山の「峠走」のコースを設定するなど、山北町の資源を活かした環境整備を促進します。

③駅伝大会等の開催支援

駅伝やマラソン大会のメッカとして、神奈川県高等学校駅伝競走大会や神奈川県実業団駅伝競走大会の開催を支援するとともに、恵まれた自然環境の情報を発信しスポーツや地域の振興を図ります。

④観光と連携したスポーツツーリズムの推進

ユースンブルーや森林セラピー事業と連携を図るなど、山北町を訪れる観光客が気軽にスポーツ・レクリエーションを楽しむことができる環境づくりを推進します。

(2) カヌーのまちづくりの推進

[主要事業]

①丹沢湖を活用したカヌーイベントの開催や湖面利用の促進

カヌーマラソン IN 丹沢湖を継続し充実させるとともに、一般のカヌーやSUP愛好者の湖面利用を促進し、カヌーのまちづくりを推進、地域振興に寄与します。

また、町内の小・中・高等学校とも連携し、児童・生徒が体験できる場を提供します。



(カヌーマラソン IN 丹沢湖)

②カヌー等指導者育成の推進

B & G山北海洋クラブの組織の充実を図り、指導者育成の機会を提供するとともに、講習会等への参加を支援します。

③カヌー関係団体との連携

財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団、神奈川県カヌー協会、町体育協会など関係団体と連携を図り、新たなカヌーイベントの開催や誘致に努めます。



(B & G山北海洋クラブ艇庫)

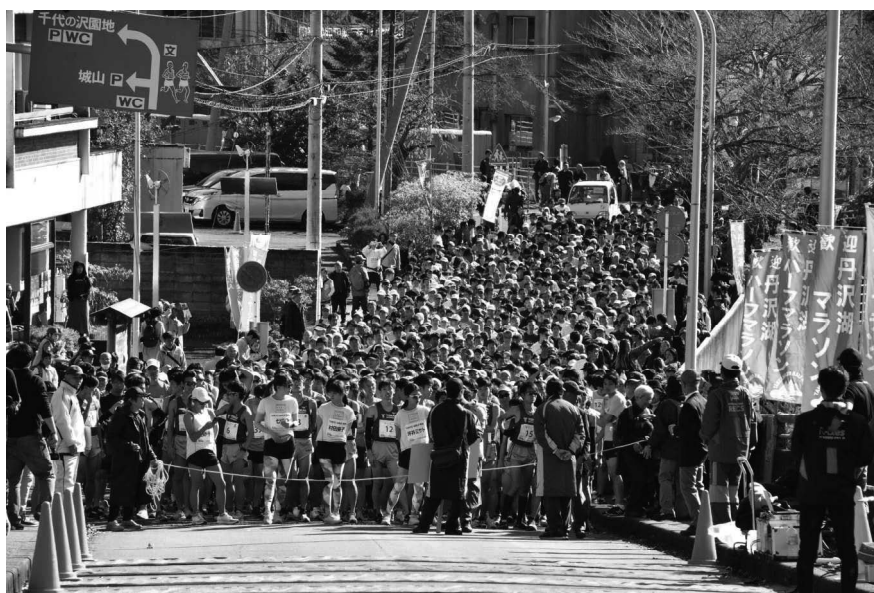
第4章 生涯スポーツ推進プランの実現に向けて

町民一人ひとりが、21世紀を健康でゆとりのある生活が送れるよう、生涯スポーツ振興の指針となるこのプランの実現を目指して、数値目標と推進方法を設定します。

本プランを実現するためには、庁内関係各課、学校・地域・家庭や民間企業と連携を図り、横断的・縦断的に実践していくことが重要です。

また、実践していくうえでは、町民はもとより各関係機関や団体の皆様のご協力が不可欠です。

このプランの目標達成とともに、第5次総合計画で掲げた「みんなでつくる 魅力あふれる元気なまち やまきた」、山北町教育大綱で掲げた「生涯学習・生涯スポーツ・文化活動の推進」の将来像が形成されるものと考えます。



(丹沢湖ハーフマラソン)

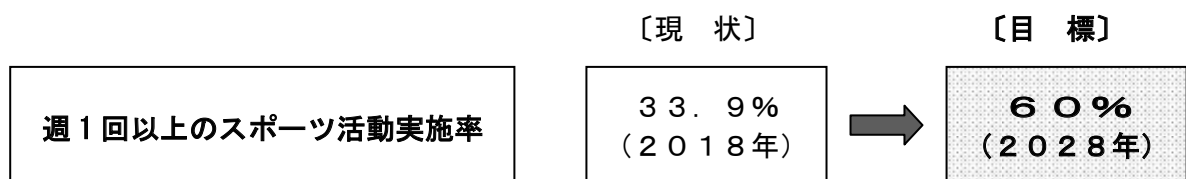
1. プランの数値目標

本プランでは、「レッツ！エンジョイ スポーツ・やまきた」の推進状況が一目で確認できる次の数値目標を設定し、より多くの町民が、日常的にスポーツ活動を楽しむようになることを計る指数として、次の2項目について検証します。

【目標 1】 週 1 回以上のスポーツ活動の実施率

平成 30 年度に実施した「運動・スポーツに関するアンケート調査」によると現状では、週 1 回以上のスポーツ実施率は 33.9%と上昇していますが、2028 年度までに 60%以上の割合になることを目指します。

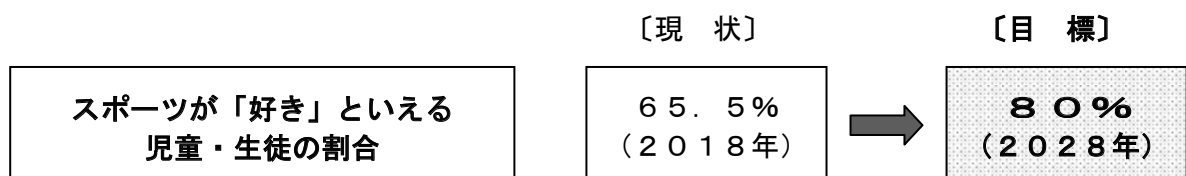
これは、国・県共に 65%の目標を掲げていますが、山北町の現状を考慮し、これを数値目標とするものです。



【目標 2】 スポーツが「好き」といえる児童・生徒の割合

子どもたちが、魅力的な運動やスポーツができる環境を整え、これを実践・継続することにより、将来の定期的なスポーツ実施者の増加を見据えて設定します。

平成 30 年度に実施した「運動・スポーツに関するアンケート調査」によると現状では、スポーツが「好き」といえる児童・生徒の割合は 65.5%であり、「どちらでもない」が 19.7%、「嫌い」が 9.2%であったことから、数値目標を現状の約 15 ポイント増を目指し 80%とします。



2. プランの推進方法・評価

【推進方法】

本プランは、本町の生涯スポーツの推進施策を統括し、各種事業を総合的・計画的に実施できるよう体制を整えていくとともに、個々の施策・主要事業は、財源の計画的な確保と効率的な実施により推進していきます。

また、各種スポーツイベントにおける参加人数など、短期的な目標を定め、イベントの充実・改善に努めます。

必要に応じ、生涯スポーツ推進会議（仮称）を設置し、推進体制や進行管理について審議します。

【評価】

本プランの評価については、施策の目標達成状況を客観的に掌握・評価するために設けた「プランの数値目標」を用いて行います。

プランの改訂年度には、アンケート調査を実施し最新の数値に基づき評価を行います。



(山北中学校卒業 尾崎好美選手のオリンピック出場記念旗)

1. 山北町生涯スポーツ推進プラン策定委員会設置要綱

(設置)

第1条 山北町生涯スポーツ推進プラン（以下「プラン」という。）の策定に関する調査審議を行うため、山北町生涯スポーツ推進プラン策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、町民等から広く意見を聞き、プランの策定にあたる。

(組織)

第3条 委員会は、町議会、スポーツ関係団体、スポーツ推進委員、健康普及員、町立小・中学校の代表及び町行政職員で、町長が委嘱または任命した委員8名以内をもって組織する。

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日から当該年度の末日までとする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に、委員長及び副委員長を各1名、委員の互選により置く。

(1) 委員長は、委員会を総理代表する。

(2) 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。

2 委員長は、特に必要があると認めたときは、会議に関係者の出席を求め、意見を聞くことができる。

(事務局)

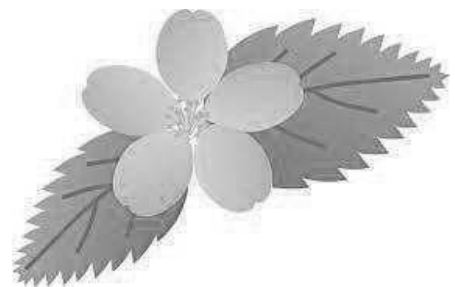
第7条 委員会の事務局は、教育委員会生涯学習課に置く。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

この要綱は、公布の日から施行する。



2. 山北町生涯スポーツ推進プラン策定委員会委員名簿・策定の経過

[委員名簿]

要綱第3条の区分	所 属	氏 名	摘 要
町議会	福祉教育常任委員会	鈴木 登志子	
スポーツ関係団体	体育協会	加藤 有二	
	一般社団法人あすぼ	瀬戸 穂波	
スポーツ推進委員	会長	諸角 久美子	副委員長
健康普及員	会長	清水 真澄	
町立小中学校代表	校長園長会	中野 敏治	
町行政	副町長	山崎 佐俊	委員長
	教育委員会教育長	石田 浩二	

[策定の経過]

時 期	内 容
平成30年8月22日	策定委員就任依頼・会議開催通知
9月14日	第1回策定委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・策定委員の委嘱、役員の選出について ・プランの策定行程（案）について ・アンケート調査用紙（案）について ・プラン【概要】（案）について
9月14日 ～10月末	○アンケート調査の実施 [成人向け・児童生徒向け] ○アンケート結果集計・分析、旧プラン評価
11月14日	第2回策定委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査結果について ・プラン【第1章】【第2章】（案）について
12月20日	第3回策定委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・プラン【第3章】【第4章】（案）について
平成31年1月1日 ～1月18日	○パブリックコメントの実施 [広報、ホームページ、窓口]
2月6日	第4回策定委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・プラン（案）について
3月	印刷・発行

3. 山北町の社会体育施設

名称	所在	種別	内容(規模等)	問合せ
山北町スポーツ広場	山北 3139-1	グラウンド	野球場 1面、 サッカー場 1面、 ソフトボール 2面 程度 (12,900㎡)	生涯学習課 Tel75-3649
山北町営プール	山北 2041	屋外プール	大プール (25m×13.2m) 中プール (15m×7m) 幼児プール	生涯学習課 Tel75-3649
山北町パークゴルフ場	山北 3313-4	パークゴルフ場	18ホール/736m/パー66 (8,289㎡)	山北町パーク ゴルフ場 Tel75-3789
山北町健康福祉センター (運動浴室)	山北 1971-2	屋内プール	温水プール (15m×7m)	山北町健康福 祉センター Tel75-0822
ぐみの木近隣公園	岸 4031-イ	グラウンド テニスコート ゲートボール場	ソフトボール 1面 全天候人工芝 2面 ゲートボール場 1面	生涯学習課 Tel75-3649
河内川ふれあいビレッジ	湯触 322-1	キャンプ場	オートキャンプ 75サイト デイキャンプ	河内川ふれあ いビレッジ Tel77-2299
山北町立ひだまりの里	神縄 438	テニスコート キャンプ場	全天候型 4面 オートキャンプ 14サイト デイキャンプ	ひだまりの里 Tel77-2777

【平成30年度社会教育調査より】



(山北町パークゴルフ場)

山北町生涯スポーツ推進プラン【改訂版】

発 行 山北町

発行日 平成31年3月

編 集 山北町教育委員会生涯学習課

〒258-0195

神奈川県足柄上郡山北町山北 1301-4

TEL0465-75-3649



D5270

やまきた